

生産販売情報

「和歌山の花き」の販売方針について

和歌山県農 野菜花き販売課

1 生育概況

本年の秋冬品目の定植は8月中旬頃から順次行われましたが、曇天で圃場準備がおくれたため、9月上旬がピークとなりました。定植後は一部で高温による活着不良がみられましたが、適度な降雨と気温高により生育は順調にすすみ、やや前進傾向となりました。10月上旬からは日中の気温はやや高いものの、夜温は平年並みに下がっています。

主要品目である、スターチスシヌアータ、宿根カスミソウは9月が平年・前年を上回る気温で推移し、適度な降雨があったことで、出荷スタートは前年よりやや早くなりました。

その他の草花類についても同様に現在のところ順調な生育となっています。

2 販売方針

令和元年産花きの販売方針として、販売対策は、販売ルートを確認にした物日や記念日を活用した予約相対取引の拡大に加え、品目リレーによる周年供給体制を活かした販売強化に取り組めます。

消費拡大対策は、『ココ・カラ。和歌山』や全国組織と協同し『母の日参り』や「スイートピーの日」での関係産地や企業と連携を強化し、新たな需要創出に取り組みます。そして、量販店での「和歌山フェア」の開催やSNSを活用した情報発信を強化し、消費喚起をはかります。

物日での販売は、年末、春彼岸、秋彼岸などでの予約相対取引の拡大による販売価格の安定化に取り組めますが、物日以外の記念日を活用した中で、加工業者・小売店への企画提案を強化することで長期的な予約相対取引にも取り組めます。

消費拡大としては、記念日などを活用した和歌山フェアの開催、また最近では物日としても定着し、認知度が高くなっている『母の日参り』を全国展開してさらなる認知度向上と需要創出に取り組めます。

